

退任役員らを表彰

県退職公務員連盟大会

県退職公務員連盟は5日、県大会に位置付ける「福島大会」を福島市で開き、退任役員や組織強化支部を表彰した。

隔年で開いてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響で6年ぶりとなった。



退任役員表彰を受ける
富永前副会長(左)

県内17支部の会員ら約250人が参加し、室井勝会長が「先輩方が築いてきた制度を次世代の現役に引き継ごう」とあいさつした。

退任役員の富永孝夫(郡山支部前副会長)と高久庄三(前会津坂下支部長、会員数増員を達成した東白川支部)を表彰した。

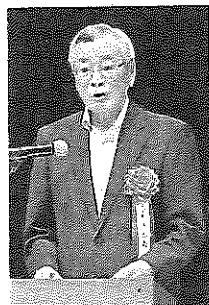
佐藤安彦(県企画調整部政策監)が「ふくしまのいま、現状から未来へ」と題して講演した。「公的年金を含む社会保障給付費の財源は、安定した雇用と着実な経済成長による税収や保険料収入の増加などで確保を図ること」など7項目を福島大会決議として決議した。

復興状況語る

県退職公務員連盟
大会で佐藤政策監

福島

県退職公務員連盟福島大会は福島市のパル



あいさつする室井勝会長

せいいざかで開かれた。約250人が出席。

室井勝会長があいさつした。佐藤安彦(県企画調整部政策監)が東日本大震災からの復興状況や今後の取り組みなどについて講演した。

席上、退任役員に感謝状を贈り、組織強化支部を表彰した。対象は次の通り。

- ▽退任役員感謝状 富永孝夫、高久庄三
- ▽組織強化支部 東白川支部